

# 森林鉄道・軌道の歴史

特撰 森林鉄道情景：西裕之2014

全国森林鉄道：西裕之2001

井口光

# 森林鉄道・軌道の歴史

- 森林鉄道・軌道が必要になった歴史的背景

管流し及び川流しは増水を待たなければならず安定供給が難しかった  
明治以降の急速な木材需要に追いつけなくなっていた  
御料林・国有林の木材を損傷を少なく運ぶ手段が必要だった  
農業用水・飲料水確保のための堰・ダム建設が始まった



東北森林管理局：伐採・運材の歴史



ふるさと坂下：木曾式伐木運材法

# 森林鉄道・軌道の発展

- 河川運材が困難になると森林鉄道・軌道が急激に増加  
ほとんどの鉄道・軌道は国有林・御料林からの搬出のために敷設された  
そのため農商務省山林局や宮内省帝室林野局、北海道庁が敷設・運行する  
官営だった
- 明治29(1896)神奈川県丹沢の御料林に初の木軌道が敷設
- 明治34(1901)帝室林野局の阿寺御料林で鉄軌道が用いられる
- 明治39(1906)津軽森林鉄道建設開始
- 大正10(1921)温根湯・置戸森林鉄道

# 戦後の森林鉄道・軌道

- 昭和22(1947)GHQにより山林局・帝室林野局・北海道庁の林野行政が農林省林野庁に統一
  - 同時に各局で管理されていた森林鉄道・軌道も林野庁に統一管理されるようになる
- 昭和30年代までは主流な搬出方法だった
- 千葉・東京・大阪・福井・香川
  - 長崎・佐賀・沖縄以外の県には全て存在した

# 森林鉄道・軌道の衰退

- 昭和40年代以降急速に廃止

  - 資源の枯渇

  - 伐採方法の変化：皆伐から択伐へ

  - 固定資産の耐用年数基準の厳格化

  - 薪炭材需要の減少

  - 道路条件の改善

- 平成21年(2009)安房森林鉄道の土埋木・風倒木の搬出終了

  - 林業用としての森林鉄道・軌道が無くなる



# 森林鉄道と森林軌道

## ◆明治28年の定義

- 森林鉄道

緩勾配・緩曲線、路盤・軌条重量が大、牽引が蒸気機関車の幹線路線

- 森林軌道

軌道条件が上記以下、畜力・人力・内燃機関車

## ◆昭和28年 林野庁森林鉄道保安規定

- 1級線：40‰・最小曲線半径30m以上・軌条10～22kg・道床100mm

- 2級線：50‰・10m以上・9kg・70mm

全国700路線のうち1級線は130程度：8割が森林軌道だった

# 土木軌道と作業軌道

作業終了後は資材の再利用のため撤去するため遺構や資料が極端に少ない

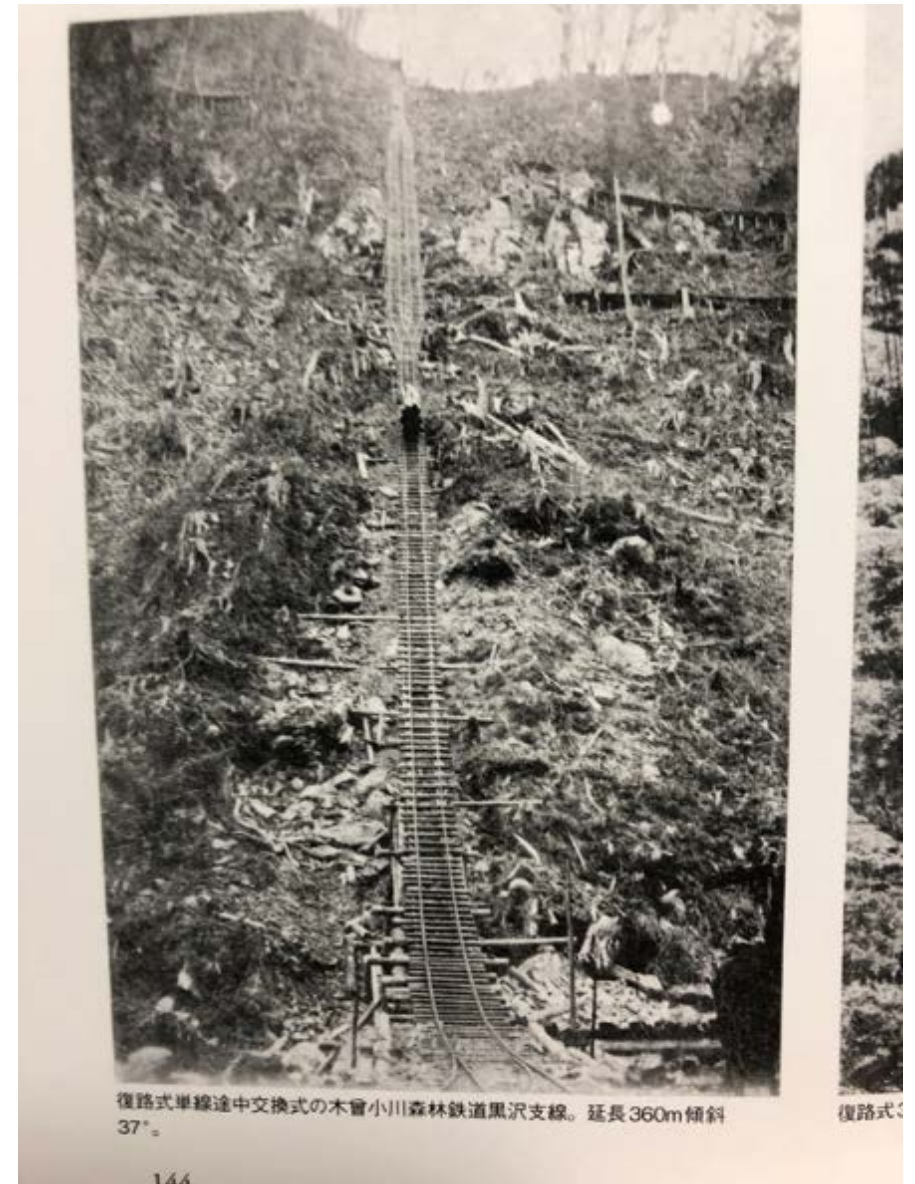
- 道床があるものを主に土木軌道と呼んだ
- 作業軌道は栈橋状軌道が続く



城川(うぐいがわ)線助六東川作業軌道。昭和49年8月

# インクライン

- 架線集材の代わりに急峻な地形の場所で敷設されていた
- 大量輸送のネックとなることから索道へと変化した





# 現在も各地に残る遺構



編集長敬白 ついに水没する「三弦橋」



森と親しむ相談室 東京大学  
秩父演習林の森林軌道など



森林鉄道蒸気機関車「雨宮21号」

遠軽町



・森林鉄道・林用軌道 ホームページ

# 森林鉄道遺産の 地域資源的価値付け

井口光

# 論文

山形県真室川町における森林鉄道の保存機関車の活用 — 地域資源の価値づけとその内外への発信に着目して — 中牧 崇 2016

高知県中芸地区の森林鉄道遺産  
西田紀子 2008

# 全国の森林鉄道遺構の利用

- 丸瀬布森林鉄道
- 真室川森林鉄道
- 赤沢森林鉄道
- 魚梁瀬森林鉄道
- 安房森林鉄道

## 魚梁瀬森林鉄道

ゆりやまの森とていつ



かつて木村と人と文藝石炭んだ森林鉄道に巻きてる

林業が盛やかだったころに大規模な改築計画でできた  
森林鉄道が復活され、魚梁瀬の深山公園の遊りを深めています。

所在地	〒781-6328 香川県高松市魚梁瀬丸山
運営時間	10:00~12:00, 13:00~18:00
料金	一般400円 小・中学生200円 運転代額1,000円(小学生以上)
休日	平日・土曜日は土曜運行)
駅名	魚梁瀬
通過車両	普通車30台 魚梁瀬丸山公園内
関連ウェブサイト	高松市 国土部 国土局 国土局 国土局 高松市 国土部 国土局 国土局 国土局 高松市 国土部 国土局 国土局 国土局
お問い合わせ	高松市国土部 国土局 国土局 電話 087-42-2311 Fax 087-43-2298 E-mail yama2@b.forest.kochi.ac.jp
ホームページ	<a href="http://www.yama2.ac.jp/public/index30/">http://www.yama2.ac.jp/public/index30/</a>
URL	
備考	【利用時間】基本日曜のみ 10時~18時

## 真室川森林鉄道



森の中を走る力強きトロッコ列車  
真室川森林鉄道 (真室川町)

『真室川森林鉄道』は、輸入する木材需要と、山間地の産業復興のため昭和18年に創設された。これらは、道東地方の森林業の隆盛を伝える貴重な遺産である。



信州木曾・ひのきの里

## 上松町観光ガイド

Nagano Prefecture's Kise-kun Area's tourism information.

Top 観光地 イベント 自然情報 自然情報 アクセス バンフレット お問い合わせ

TOP > 観光地 > 自然情報

### 赤沢森林鉄道



赤沢森林鉄道は、日本最大級の連続急勾配の森林鉄道として知られています。また、美しい自然環境を堪能できる観光地としても知られています。

ここでは、赤沢森林鉄道の魅力を紹介します。

北海道遺産  
近代化産業遺産  
準鉄道記念物  
林業遺産

レベルの上をペダルをこいで進む軌道用自転車。風を切って進む爽快感が最高です!

軌道用自転車  
真室川町観光協会が主催する。

温泉にピッタリ雨宮21号にも乗ってみよう大満足!

## 森林鉄道蒸気機関車 雨宮21号

★運行時間 10:00~16:30  
(12:30休憩して30分前後。)  
(10:00前または16:30以降は乗車できません。)  
(10:21以降は乗車できません。)

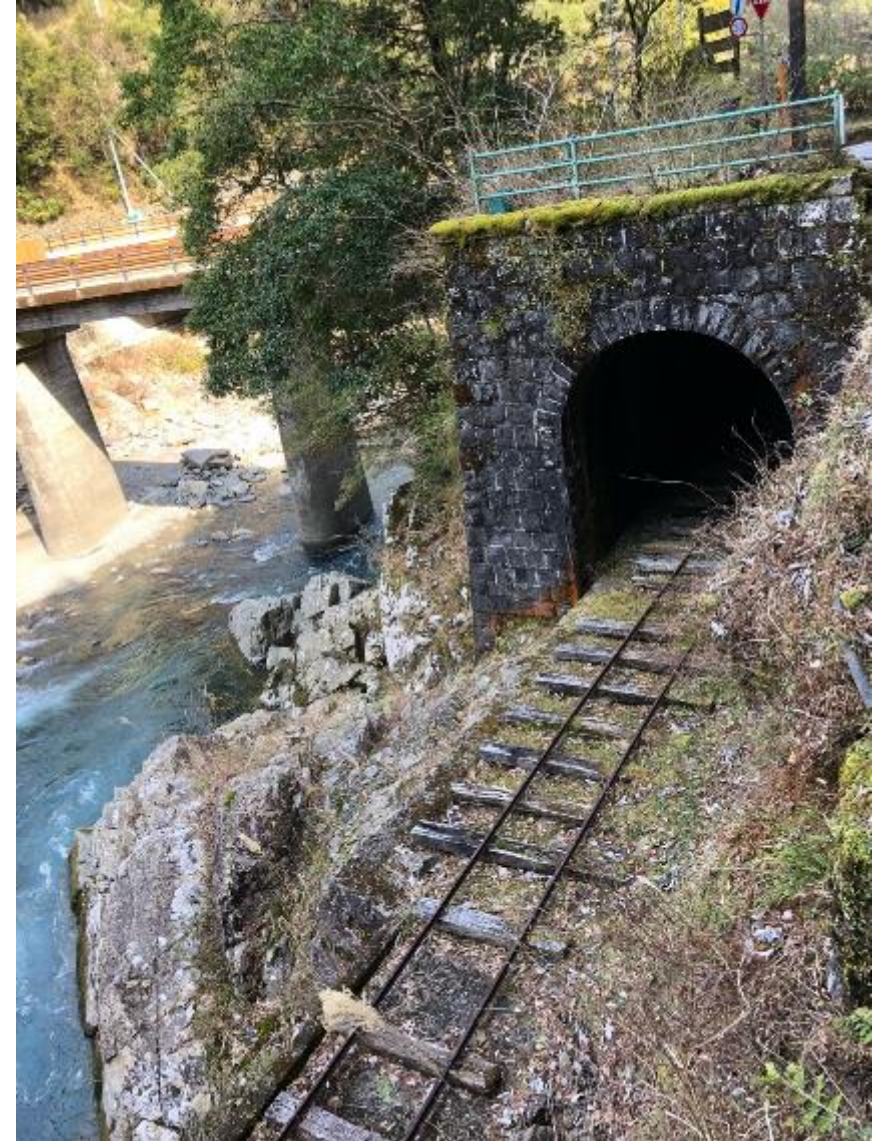
★乗車料金 大人(高校生以上) 500円  
4才以上中学生まで250円  
★30名以上の団体乗車は2割割

# 魚梁瀬森林鉄道

- 日本三大杉美林（秋田・吉野）である魚梁瀬杉の搬出を目的に1907年国内で3番目の森林鉄道として開通
- 全盛期は総延長250kmの路網を張り巡らせていた
- 1964年車道の開通とともに廃止
- 2009年経済産業省の近代化産業遺産群と国の重要文化財に指定される

# 魚梁瀬森林鉄道の遺構の特徴

- 急峻な地形に敷設されたため戦前の貴重な土木建築物が密集している
- 一連の鉄道施設が残っている
- 国有林経営史の一側面としての価値



# 真室川森林鉄道

- 林業の町として発展してきた真室川町
- 歴史民俗博物館の展示品として町長が営林局へ譲渡を申し入れる
- 動態保存を条件に譲渡決定
  
- ホテルと協力して外部発信
- 保存のために観光資源化していく



# 森林鉄道の遺構は観光資源になる

- 森林鉄道の魅力
  - 森の中を開放感溢れる車両で走るロマン
  - 普段は入れない線路に入れる
  - 森林の四季の移ろいも楽しめる
- 何もない山村では特に貴重な観光資源の可能性
- 見せる林業・観光林業としても期待できそう

産業遺産の保存の資金を集めるためにも観光業との協力が重要